2021年7月18日(日) 山陽新聞 [全面広告面]

岡山の大学へ行こう

vol. 2 輝く学生たち

岡山県内の大学・短大の魅力を紹介する「岡山の大学へ行こう！」３回シリーズの第２回は、夢を実現させるために県内の大学へ進学し、勉強はもちろん部活動や地域活動などで自らを磨いている学生たちに注目。大学を選んだ理由や、免許や資格の取得を目指す取り組み、将来の目標などを語ってもらいました。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科 ４年
本地 愛奈さん
（岡山県立玉島高校卒）

系列病院で実習 卒業研究にも力

私たち臨床工学科の学生は、医療機器のスペシャリスト・臨床工学技士を目指しています。一口に医療機器といっても人工心肺、透析装置、人工呼吸器、輸液ポンプなどたくさんあります。仕組みや操作を覚えるのは大変ですが、早く医療現場で活躍できるよう、みんな頑張って勉強や実習に励んでいます。

私がこの学科を目指したきっかけは、高校生のとき参加したオープンキャンパスでした。まだ臨床工学技士という存在を知りませんでしたが、病院見学で見た技士さんが医療を陰から支える頼もしい存在に思え、とてもかっこよく映りました。

念願かなって入った大学では、系列の川崎医科大学附属病院や総合医療センターでしっかりと実習を積め、とても充実しています。実際に使われている医療機器も多数学内にあり、現役の技士さんから講義を受けることもあります。

他学部・他学科や川崎医科大学の学生と接する機会も多く、医師、看護師など他職種のことを幅広く知ることができるのも他大学にはない、うちの良さだと思います。

今の生活は実習、就活、卒業研究が中心です。卒業研究では、透析時の異常を血流音やポンプの音からいち早く検知する仕組みづくりに取り組んでいます。多忙ですが、自分の夢に近づいているのを実感でき、とても楽しく過ごしています。

将来は人工心肺業務に携わり、執刀医が手術に集中できるよう、適切なサポートが行える臨床工学技士を目指しています。手術室での業務は、責任とともに大きなやりがいがあると思っています。

医療を支える臨床工学技士に

人工呼吸器の操作実習に励む本地さん（右）

〒701―0193　倉敷市松島288
川崎学園
アドミッションセンター☎(086)464―1064

Open Campus Schedule 2021
本特集に掲載している開催情報は今後、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から変更となる可能性があります。
詳しくは各大学のホームページをご確認ください。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学
川崎学園アドミッションセンター　☎(086)464-1064
7月25日(日)★、8月22日(日)
10月16日(土)・17日(日)
2022年3月27日(日)★
★医療福祉大、医療短大、川崎リハビリテーション学院の3校合同開催。
川崎医療福祉大学　川崎医療短期大学